

事務事業マネージメントシート

作成日 平成28年10月05日

事務事業名	園芸団地整備推進支援事業				担当	産業環境部 農政課 園芸畜産係					
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり					電話番号	0285-83-8139			
施策名	1	農業の振興					<input type="checkbox"/>	実施計画上の主要事業			
基本事業名							事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市農産物販売交流施設「いがしら」冬季農作物安定供給対策バイブルハウス整備事業費補助金交付要綱							<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)			
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	4.園芸特産費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(平成21年度~平成23年度)					
事業概要	園芸団地整備は、真岡市農産物販売交流施設「いがしら」(あぐ里っ娘)において冬季農産物の不足を補うために、バイブルハウス整備者に対し補助をするものであります。対象は、「いがしら」に出荷している井頭直売部会員で、補助率は、ハウス1棟当たり、1/3以内で、事業費上限は50万円。										

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 27年度実績 ・ハウス1棟分の施設整備補助	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移							
	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
28年度計画 ・事業終了	ア:補助金							
	イ:							
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・井頭直売部会員(直売出荷者)	ウ:							
	エ:							
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・冬季作物の不足を補い、年間を通じて農作物の安定供給を図る。	オ:							
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移							
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) ・豊富な品揃えを確保し、直売施設の販売額の増加を促進する。	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
	ア:直売施設出荷農家							
⑤事業費の推移	イ:							
	ウ:							
⑥人件費の推移	エ:							
	オ:							
⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
	ア:直売施設販売額							
⑨人件費の推移	イ:来場者数							
	ウ:							
⑩総事業費の推移	エ:							
	オ:							
(2) 総事業費の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	財源内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	事業費	一般財源	千円	0	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	
		延べ業務時間	時間	0	0	0	0	
	人件費	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		平成20年4月に農産物販売交流施設「いがしら」(あぐ里っ娘)をオープンしたが、消費者から冬季の品揃えが少ないので、豊富にしてほしいとの要望が多数あった。						
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		直売施設及び観光いちご園の整備が終わり、来場者数も増えている。						
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		直売施設においては、来場者から豊富な品揃えが望まれている。						

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農作物の安定供給を図ることは、農産物販売交流施設の販売促進につながり、市の施策と結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 年間を通じて農作物の安定供給を図ることは、農産物販売交流施設の販売促進につながり、公共関与することは、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 井頭直売部会員を対象にパイプハウス整備を支援することは、農産物の安定供給につながり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 補助を希望する全ての会員に実施できており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 3年間の期限付き事業であり、影響はない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の補助であり、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一部補助で生産者も応分の負担をしており、公正公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		